

# Quantum®

## Scalar i3



### > DATASHEET

## 簡単、効率的かつスケーラブルなテープ・ライブラリ

データのバックアップとDR、データの長期保存、非構造化データ・アーカイブのストレージの選択肢として、テープは依然人気があります。テープのコスト・メリット、耐久性、持ち運びやすさ、ランサムウェアからのオフライン保護などが、その人気の理由です。IT組織は、非構造化データの急増とランサムウェア攻撃リスクの増加、リソースの制約というビジネスの課題と格闘しているため、購入コストを上回る効率化が可能でITソリューションであることが重要です。

### 使いやすさ

Scalar® i3テープ・ライブラリは、最初のセットアップから維持管理まで、使いやすさを第一に設計されています。管理時間の削減とシステム稼働時間の改善が実証済みのScalar iLayer™管理ソフトウェアは、さらなる効率性と直感的ユーザー・エクスペリエンスを実現するため、刷新されました。モバイル・ファーストのユーザー・インターフェース設計により、ネットワークに接続するあらゆるデバイスでどこからでも管理が可能です。

### 効率性

3Uで0.75PBから最大12Uで3PBまでのデータ保存が可能なクラス最高のストレージ密度と80 PLUS®認定の電源を備えたScalar i3は、テープのフットプリントの削減および消費電力と冷却コストの削減を可能にし、初期購入費以上の節約を約束します。

### スケーラビリティ

Scalar i3は、モジュラー設計とキャパシティ・オン・デマンド(CoD)方式のスケーラビリティにより、拡張の管理を簡略化します。CoDソフトウェア・ライセンスにより、カートリッジ・スロットを25スロットから最大200スロットまでただちに拡張でき、圧縮後の容量は375TBから最大3PBにのびります。さらに、12台までのテープ・ドライブをサポートするので、ユーザーが必要に応じて読み取り/書き込みのパフォーマンスを追加できます。パーティショニング機能搭載のScalar i3は、昨今のITの課題に対処するための価値あるツールとして、単一のライブラリでデータの保護とアーカイブを実現します。

## 主な特長と利点

### インテリジェントなiLayerソフトウェア

システムのセットアップと管理をこれまでになく容易にし、貴重な時間を節約

### キャパシティ・オン・デマンドによる成長

システムを停止させず容量を簡単に拡張することでストレージ容量の拡張を簡素化

### クラス最高レベルのストレージ密度

最高レベルのラック・ユニットあたりのテープ・ストレージにより貴重なデータ・センターのフットプリントを節約

### 80 PLUS認定電源

消費電力と冷却コストを最小に抑える高効率でグリーンな電源

### Advanced Reporting

リソースのバランス、セキュリティの向上、予算や計画の改善に有効な、メディア、ドライブ、およびメディアのセキュリティに関するレポート。レポートのスケジューリングと配信の自動化により時間を節約

### 高可用性機能

冗長電源および制御バスのフェイルオーバーによる、障害発生時のダウンタイムの短縮

### プロアクティブな監視と診断

運用に影響を及ぼす前に問題を解決することで、システムの稼働時間を最大化し、運用コストを最小化

### 暗号化キー管理

KMIPに対応するFIPS検証済みのソリューションによって、キーの管理が容易になり、データ漏洩のリスクを軽減。AES 256ビット暗号化規格による最高レベルのセキュリティ



> 詳細はこちら  
[www.quantum.com/jp/tape](http://www.quantum.com/jp/tape)

## 容量構成

システム容量							
モジュール数	フォーム・ファクタ	最大スロット数	最大ドライブ数	最大容量:TB(PB)*			
				LTO-6		LTO-7	
				TB	PB	TB	PB
1(1CM)	3U	50	3	312.5	0.3	750	0.75
2(1CM,1EM)	6U	100	6	625	0.6	1,500	1.5
3(1CM,2EM)	9U	150	9	937.5	0.9	2,250	2.25
4(1CM,3EM)	12U	200	12	1,250	1.25	3000	3.0

最小容量は25スロット。追加スロットはキャパシティ・オン・デマンド (CoD) ライセンスでアクティブ化できます。  
\* 2.5:1の圧縮を想定

## 動作

インターフェース・オプション:	8Gb FCおよび6Gb SAS
インベントリ速度:	1分(標準構成の場合)
ファームウェア・アップデート:	最新のライブラリとドライブのコード・レベルを確実にご使用いただくため、ファームウェア更新の自動チェックを選択できます。
構成:	設置または追加されたコンポーネント(モジュール、テープ、ドライブ、マガジンなど)に対する自動検出と自動キャリブレーション
ライブラリパーティショニング:	最大12パーティションをサポート
インポート/エクスポート:	すべてのモジュールで5スロット増設により0~25に構成可能

## 信頼性

ライブラリMSBF:	2,000,000回以上
ライブラリMTTR:	30分
電源:	2N構成の電源オプション
診断機能:	ライブラリ監視の主要サブシステムに組み込まれたプロアクティブな診断により、自己診断手順およびシステム管理者とのポリシーベースの通信を実行
モジュール・アップグレード:	どのモジュールでも30分未満で増設可能。すべてのコンポーネントがユーザーで設置可能

## 外形仕様

モジュール	高さx幅x奥行
制御モジュール	13.3cm x 44.1cm x 92.45cm
拡張モジュール	13.1cm x 44.1cm x 92.45cm

## ラック据え付け要件

- ライブラリは標準的な19インチの4柱型のラック筐体に据え付けること
- ラックの最小奥行:1070mm

## ソフトウェア互換性

Scalar i3と互換性のあるソフトウェアとプラットフォームの完全な一覧については、[www.quantum.com](http://www.quantum.com)にある最新のクアンタム・ソフトウェア互換性ガイドを参照してください。

## 規格・認証

安全規格:	IEC 60950および世界各国の独自修正基準
電磁波放射基準:	CNS13438 Class A, EN55022:2010 Class A, FCC Part 15 Class A, KN 32, VCCI
電磁耐性基準:	EN55024, KN 35
国際認証:	CE(欧州)、VCCI(日本)、TUV/GS(ドイツ)、FCC(米国)、ICES(カナダ)、cTUVus(米国、カナダ)、EAC(EuroAsian Conformity Mark)、KCC(韓国)、BSMI(台湾)

## 使用環境

電圧:	100~240 VAC, 50~60Hz
電源:	80 PLUS認定
温度:	16~35℃(動作時)
湿度:	20~80%(動作時、結露なし)

## ドライブ容量とパフォーマンス

ドライブ・タイプ	カートリッジ容量 非圧縮/圧縮* (TB)	ドライブのスループット 非圧縮/圧縮* (MB/秒)
LTO-7	6.0 / 15.0	300 / 750
LTO-6	2.5 / 6.25	160 / 400

LTO-7およびLTO-6データドライブは、暗号化とLTFSをサポート  
\* 2.5:1の圧縮を想定

## 高度な機能

Advanced Reporting:	メディア整合性解析レポート、メディア使用率レポート、ドライブ使用状況レポート、セキュリティレポートおよびメディア取り出し通知、レポート自動作成と配布リストへの配信機能を備えたレポート・スケジュール
制御バス・フェイルオーバー:	ロボット制御のための冗長接続を提供

当製品の販売に関するお問い合わせは右の取扱店までお願いします。

<http://www.quantum.com/jp/>

**Quantum**  
BE CERTAIN

日本クアンタムストレージ株式会社

〒107-6012 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 12F TEL. 03-4360-9255

©2016 Quantum Corporation. All rights reserved. Quantum, QuantumロゴおよびScalarはクアンタム社の登録商標です。その他すべての名称またはロゴは、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本カタログに記載の仕様については予告なく変更することがあります。

取扱店